

平成25年度弘前大学FDワークショップ (第15回)

テーマ:科目ナンバリングの作成とカリキュラムの
体系化

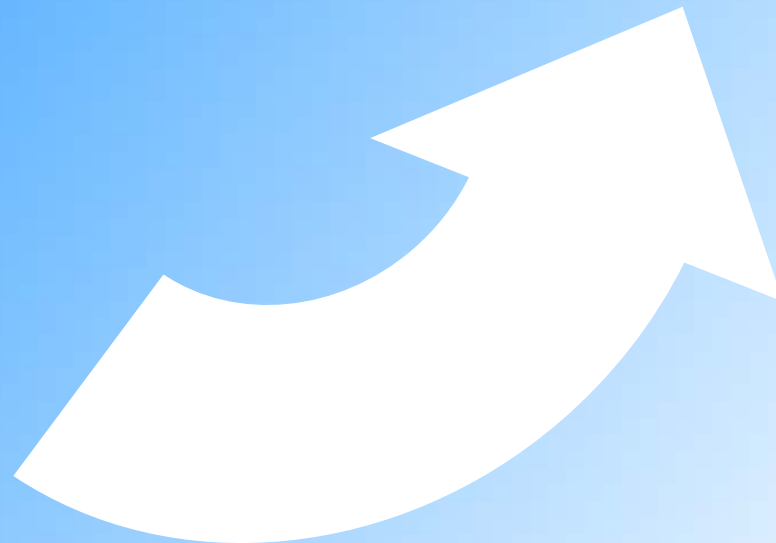
2013年6月8日(土) 8:40~16:40

弘前大学創立50周年記念会館「岩木ホール」

田中正弘(教育推進室員)

目次

- 科目ナンバリング制度の目的
- 科目ナンバリング制度の学内統一ルール
- 学士課程プログラムの体系化への活用
- ワークショップのスケジュール



科目ナンバリング制度の目的

科目ナンバリング制度の導入目的と期待する成果

●目的

- 文部科学省が平成24年6月5日に提唱した「大学改革実行プラン～社会の変革のエンジンとなる大学づくり～」や、中央教育審議会大学分科会が平成24年8月28日に公表した答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」への対応の一環として、科目のナンバリング制度を本学で検討する。

●期待する成果

- 授業の難易度や位置づけがわかるように各科目に番号を振ることで、学士課程の科目全体を体系化できる。
- 学生が難易度に応じて授業を選びやすくなる。

科目ナンバリング制度の学内統一 ルール

科目ナンバリング制度の学内統一ルール

- 科目ごとのナンバリングは、下記のルールに従って実施する。

- 例：「政治学Ⅰ」の科目ナンバーは、POL-1-2-205

POL

学問分野

—

1

部局番号

—

2

位置づけ

—

205

難易度+通し番号

学問分野(1)

- 科目の学問分野は、科研の細目表の分類を、原則参照する。
 - 例：政治学(3701 Politics), 代数学(4701 Algebra)
 - ただし、該当するものがなければ独自に分類を作成する。
 - 例：科目「基礎ゼミナール」, 基礎ゼミナール(Basic Seminar)
- 学問分野を表すアルファベット三文字の作成ルール
 - 例1：日本語教育(3204 Japanese Language Education) ⇒ JLE (それぞれの頭文字をとる。)
 - 例2：細胞生物学(6705 Cell Biology) ⇒ CEB (最初の語から2文字, 最後の語から1文字をとる。)
 - 例3：脳神経外科学(8305 Neurosurgery) ⇒ NEU (最初の3文字をとる。)

学問分野(2)

- 学問分野を表すアルファベット三文字が他の分野と重なった場合の対応
 - 例：幾何学(4702 **Geometry**)と地質学(5004 **Geology**)は同じアルファベット(**GEO**)となるため、調整を行い、幾何学(**Geometry**)を**GME**とする。
- 科目が複数の学問分野にまたがる場合の対応
 - 最も比重が置かれている分野を選択する。
 - 例：商学(3902)が60%, 会計学(3903)が40%ならば、商学を選択する。

部局の番号と科目の位置づけ

●部局の番号

- 1： 人文学部
- 2： 教育学部
- 3： 医学部医学科
- 4： 医学部保健学科
- 5： 理工学部
- 6： 農学生命科学部
- 7～8： 21世紀教育科目

●科目の位置づけ

- 1： 教養教育科目(21世紀教育科目)
- 2： 専門教育科目

科目の難易度と通し番号

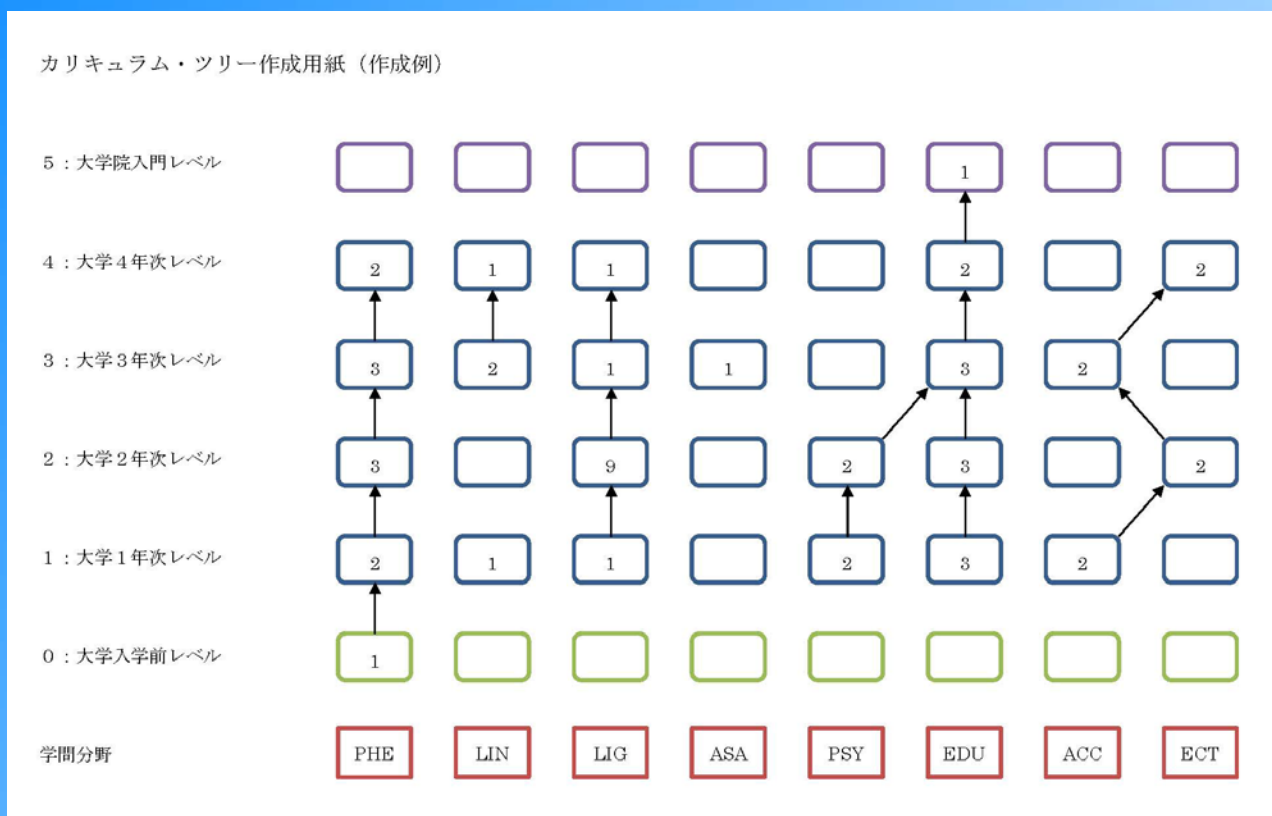
●科目の難易度

- 0: 大学補習レベル(補習レベルで単位を与えないもの)
 - 1: 大学1年次レベル
 - 2: 大学2年次レベル
 - 3: 大学3年次レベル
 - 4: 大学4年次レベル
 - 5: 大学院入門レベル
- 通し番号は, 05, 10, 15のように, 等間隔とする。
- 科目が新設されたときに対応できるようにするため。

学士課程プログラムの体系化への 活用

カリキュラムツリーの作成

- 学問分野を表すアルファベットごとに、各難易度の科目数を記入する。



カリキュラムツリーの分析(1)

- 「哲学・倫理学」(PHE)の分野は、大学1年次レベルから大学4年次レベルまで、科目が**バランスよく配置**されている。その上、補習が必要な学生のために、大学入学前レベルの科目も提供されている。
- 「言語学」(LIN)の分野は、**大学2年次レベルの科目が存在しない**。このため、新たな科目の開設が必要だと思われる。
- 「文学一般」(LIG)の分野は、**大学2年次レベルの科目が過多**になっている。これらの科目の見直しが必要かもしれない。

カリキュラムツリーの分析(2)

- 「美学・芸術諸学」(ASA)の分野は、大学3年次レベルの科目のみが、他の科目との関連なく提供されている。
- 「心理学」(PSY)の分野は、「教育学」(EDU)の大学3年次レベルの科目の学修を豊かにする目的で、大学1年次～2年次レベルの科目が提供されている。
- 「会計学」(ACC)と「理論経済学」(ECT)の分野の科目は、お互いに補強し合う形で提供されている。

カリキュラムツリー作成における注意事項

- 隣接する学問分野を隣同士に配置する。
 - 矢印で相互の関係性を明示するため。
- 専門教育科目のみでなく、教養教育(21世紀教育)科目も含めて、カリキュラムツリーを作成する。
 - ただし、教養教育科目は各学科・専攻で推奨している履修モデルの科目のみを含める。
- カリキュラムツリーの分析結果を踏まえて、科目ナンバリングを適宜修正してもよい。
 - ただし、分析結果で明らかになった問題を見えにくくする、という意味ではない。
 - なお、21世紀教育科目のナンバリングも修正可能とする。

ワークショップのスケジュール

弘前大学FDワークショップ(第15回)日程表

- 8:30～ 8:45 会場受付(50周年記念会館)
- 8:45～ 8:50 開会挨拶 理事(教育担当) 中根明夫
- 8:50～ 9:15 講演 教育推進室員 田中正弘
講演「科目ナンバリングの目的と仕組み」
- 9:15～ 9:20 質疑応答
- 9:20～12:00 グループワークI(司会:田中 正弘)
「途中休憩(10分)を含む」
- 12:00～13:00 昼食(60分)
- 13:00～14:30 グループワークII(司会:田中 正弘)
- 14:30～14:45 休憩
- 14:45～16:00 グループ発表(司会:田中 正弘)
- 16:00～16:30 総括討論
- 16:30～16:40 閉会挨拶 理事(教育担当) 中根明夫
- 16:40 終了・解散

ご清聴ありがとうございました。